

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー : ドイツ文学入門 ILAS Seminar : Introduction to German Literature		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Letters Associate Professor, KAGO MIDORI	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 6 (6)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Mon.5
Classroom	(Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	ヨーロッパ文学関連 / 文学一般関連 / ドイツ語文学				
[Overview and purpose of the course]					
<p>ドイツ語文学のうちで比較的短く、読みやすい3篇ー『砂男』、『みずうみ』、『トニオ・クレガー』ーを熟読します。まずはそれぞれの作品について受講者に簡単な発表を行ってもらい、全員で議論・考察します。それを通して19世紀初頭から20世紀初頭までのドイツ語文学史を概観し、歴史や社会とフィクションの結びつきについて考えます。また、文学作品をさまざまな角度から論じる手法を習得します。</p> <p>中盤以降は、受講者それぞれが好きなドイツ語文学作品をひとつ選び、発表してもらいます。その際、自分の興味のある「特定のテーマ」に注目した発表をお願いします。最後に、発表内容を発展させたレポートを執筆し、自分の考えを論理的に言語化する力を養います。</p>					
[Course objectives]					
<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品を読み解く技法を習得する。 ・文学作品を、特定の視点から解釈する方法を学ぶ。 ・外国文学に親しむ。 ・ドイツ語文学に関する基礎的な知識を身につける。 					
[Course schedule and contents)]					
第1～2回 イントロダクション(自己紹介、授業の進め方の説明、発表担当者の決定、入門書の紹介など)					
第3～4回 ホフマン『砂男』					
第5～6回 シュトルム『みずうみ』					
第7～8回 トーマス・マン『トニオ・クレガー』					
第9～13回 担当者による発表					
第14回 まとめとレポートの書き方					
第15回 フィードバック					
----- Continue to ILASセミナー : ドイツ文学入門(2) -----					

ILASセミナー：ドイツ文学入門(2)

変更の可能性があります。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業への積極的参加と発表（60点）、期末レポート（40点）で評価します。

[Textbooks]

授業で取り上げる作品3篇は図書館で借りる、購入するなどしてご自身でご用意ください。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業で取り上げる作品3篇を、図書館で借り、あるいは購入して、各回までに読んでおくこと。発表に際しては準備を行うこと。

[Other information (office hours, etc.)]

これまで読んできた本の量は問いません。ドイツ語の知識も不要です。
時間を割いて発表をお願いしたいこと、研究室の収容人数に限りがあることから、履修人数を制限します。